

下小坂古墳群(川越市)

しもおさか

小畔川左岸の台地上に広がった古墳群

緑色のエリアに下小坂古墳群が展開している/左下に記載の東洋クオリティワンの敷地内に3号墳(円墳)や4号墳(前方後円墳)などが所在していた/現在も確実に墳丘が残っているのは北久保古墳(円墳)、浅間塚古墳(前方後円墳)と見られる

※ 第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展の展示資料の一部を切り取り



正面は北久保古墳



円墳/墳頂に祠が載っている



こな塩梅



反時計回りに見てみよう/それなりの高さを感じられる



こちらからは、ほとんど高さは感じられない



墳頂の様子/6世紀代の築造であろうか・・・



さて、正面は北久保古墳のすぐ近く(北東側)に所在する墳丘/どうまん塚古墳の左上に記された円墳と思われる



アップで見たところ/この墳頂にも祠が見える



反対側に廻って、車道から塀越しに見たところ



アップで見たところ/6世紀代の築造であろうか・・・



その車道を西方向に少し進むと、祠が祀られているマウンドを発見



これが浅間塚古墳のようだ/前方後円墳



別の角度から



アップで見たところ/6世紀代の築造であろうか・・・



さて、ここが永命寺(永明寺のことと思われる)/ここに永明寺裏古墳があるらしいが・・・



ところで、永明寺北側の車道沿いの塀の中に、マウンドがあった



塀越しに見たところ



別の角度から見たところ



これは境丘のようだが・・・(展示資料には記載されていない)



さて、前方は東洋クオリティワン/かつてはこの工場敷地内とその周辺に多くの古墳が存在していたようだ

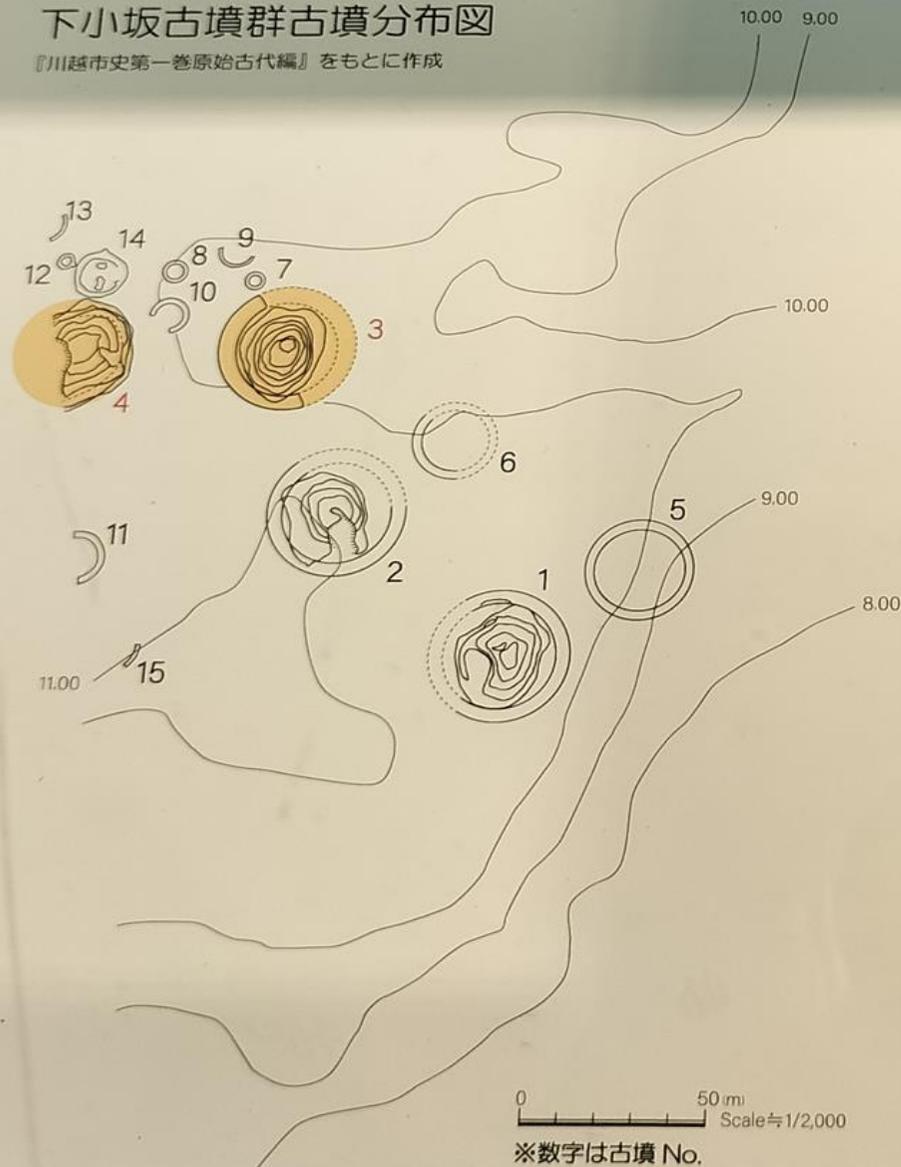


工場建設に伴い、4基の円墳が発掘調査されたそうだ

第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展の展示資料より

下小坂古墳群古墳分布図

『川越市史第一巻原始古代編』をもとに作成



下小坂古墳群周辺の航空写真（1975年撮影）





しゅもんきょう
珠文鏡

下小坂古墳群 (3号墳) 古墳時代中期後半

東洋クオリティワン 所蔵
しもおさか
下小坂古墳群出土品

川越市指定文化財

3号墳 約 1,500 年前

3号墳は、約 24 ～ 30m の円墳で、墳丘には埴輪列が認められます。埋葬施設は全長 3.7m 竪穴系の粘土槨で、内部から小型青銅鏡（珠紋鏡）、大刀、管玉、馬具などの豊富な副葬品が発見されました。出土品の形状などから、この古墳の築造年代は中期後半（5世紀末から6世紀初頭頃）とみられます。



かがねいばさくつわ
鏡板付轡

ばぐ
馬具

下小坂古墳群 (3号墳) 古墳時代中期後半

周辺の航空写真（1975年撮影）



理院「空写真閲覧サービス」より引用



しゅもんきょう
珠文鏡

下小坂古墳群（3号墳）古墳時代中期後半

3号墳 約1,500年前

3号墳は、約24～30mの円墳で、
その墳丘が認められます。

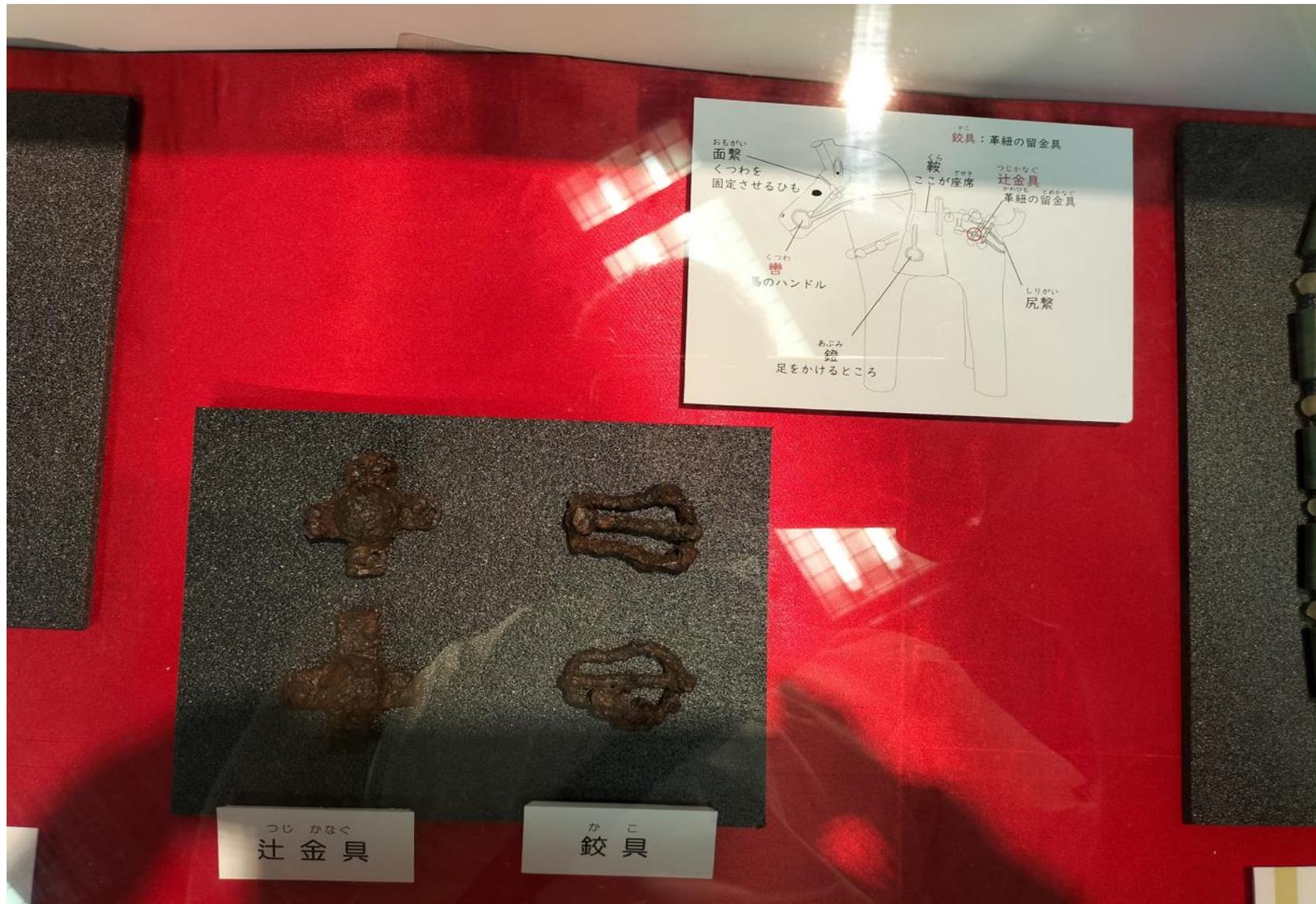
第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展の展示資料より



3号墳 約 1,500 年前

3号墳は、約 24 ~ 30m の円墳で、墳丘には埴輪列が認められます。埋葬施設は全長 3.7m 竪穴系の粘土槨で、内部から小型青銅鏡（珠紋鏡）、大刀、

かがみいたつきくつわ
鏡板付轡



第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展の展示資料より

革紐の留金具
社会具
革紐の留金具
しずか
尻繫



4号墳 約 1,400 年前
4号墳は、墳丘長約 40m の前方後円墳と推定され、墳丘には円筒埴輪や人物埴輪の樹立が認められます。
埋葬施設は横穴式石室で、大刀、青銅製釧、多数の玉類が発見されました。この古墳の築造年代は後期後半（6世紀後半）とみられます。
※釧：古代の腕輪

首飾り
下小坂古墳群 (4号墳) 古墳時代後期

株式会社東洋クオリティワン 様、川越市教育委員会 様には資料の借用にあたり、多大なご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

